



■ ■ ■
土曜授業（桂川小スポコン大会）

桂川小学校 校長 辻秀志

12月7日の土曜日は、「桂川小スポコン大会」を行います。スポコン大会とは、福岡県教育委員会が全県の小学校に呼びかけている事業です。様々な種目にチームでチャレンジをします。チームの記録を登録し、上位チームが県大会に出場します。昨年度、桂川小学校は、中学年の部、高学年の部でそれぞれ県3位をいただきました。

今回土曜授業の一環として行われる「桂川小スポコン大会」は、①ドッジボールラリー ②馬跳び ③ジグザグ走 ④長縄跳びの4種目です。

会場は、桂川町総合体育館です。入場行進、開会式、競技開始、閉会式というように、県大会に準じて行います。

すでに子どもたちは、チームを組んで出場登録を始めています。また、長縄跳びについては、学級全員で跳

「桂川っ子」の文字は、桂川中学校美術部員がデザインしたものです。

びますので、各学級とも大会に向けて練習を始めているところですが、運動の秋にふさわしい大きな行事です。子どもたちも先生たちも張り切っています。保護者の皆さまの支援をいただきながら、充実した大会にしたいと思っています。体力向上に向けて頑張ります。



■ ■ ■
学習状況調査より

桂川町教育委員会
 教育長 穂坂和義

今回は全国学力テストと同時に進行している学習状況調査の結果についてお知らせします。

学力と基本的な生活習慣には深い因果関係があることは、以前から指摘されてきたところです。その代表的なものとして、「早寝・早起き・朝ごはん」がありますが、これは全国PTAでも定着運動として取り上げられ、全国的に広がりを見せているほ

どです。筑豊地区全体に通じることですが、本町の子どもたちも「早寝・早起き・朝ごはん」が定着しているとは言いがたい状況にありましたし、他にもいくつか改善していく必要がある生活習慣（問題点）が指摘されていました。平成25年度の調査結果をみてみますと、小学校では朝食を必ず摂っている子が減り、若干ではあります。また、長時間テレビを見たりゲームをしたりする子も少し増えていました。ただし、中学校では両者とも改善傾向が出ていましたし、小中学校

とも読書する時間が増え、自主的に学習する姿勢が出てきているのはうれしいことでした。

関連することで、神戸大学など3つの大学の合同調査の結果として興味深い記事（9月14日付西日本新聞）が出ていましたのでご紹介いたします。「4つのしつけで高所得」という見出しで、次の4つのしつけを受けた人は、4つとも受けていない人より1年間の平均所得が約86万円高かったというものです。

- うそをつかない
- 人に親切にする
- ルールを守る
- 勉強をする

このようなしつけを徹底できる他の要素との関連もありますので、しつけたからと言って必ずそうなるとも言えません。しかし、4つとも社会人としての成長上大切なことばかりであることは間違いありません。



【お詫びと訂正】

広報けいせん11月号24ページ「教育情報 桂川っ子」の記事に誤りがありましたので、お詫びして訂正します。

【誤】 桂川小学校 校長 安永保之

【正】 桂川中学校 校長 安永保之